

TOSTEM リプラス アタッチ枠 サーモス用・TW用 アングルカバー・見切材 組立て・取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



●アングルカバーの取付けはねじの締めすぎに注意してください。
電動ドライバー使用時は、 $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ ($5\text{kgf} \cdot \text{cm}$)程度とし、最後は必ず手で締めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

■部品一覧

アングルカバー

アングルカバー組立てねじ	アングルカバー端部キャップ
 トラスタッピン1種 $\phi 4 \times 12$	
アングルカバー取付補助ブロック	アングルカバー取付けねじ
 ※TW用は使用しません。	 皿木ねじ $\phi 3.1 \times 20$ ※新設サッシに同梱されています。
アングルカバー縦取付補助ブロック	
 ※TW用はありません。	

見切材

見切材コーナーピース両面テープ仕様	見切材取付けねじ
	 皿木ねじ $\phi 3.1 \times 20$
見切材コーナーピースねじ止め仕様	見切材コーナーピース取付けねじ
	 薄平木ねじ $\phi 3.1 \times 20$

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	ねじのゆるみ、ねじバカはないか	☐
2	TW用枠の場合、アングルカバー裏面の断熱材は取外していないか	☐

●二次元コードにアクセスいただくと、施工説明動画をご覧いただけます。動画は参考例になります。必ず説明書の手順を実施してください。

施工説明動画



■取付けに使用する工具一覧

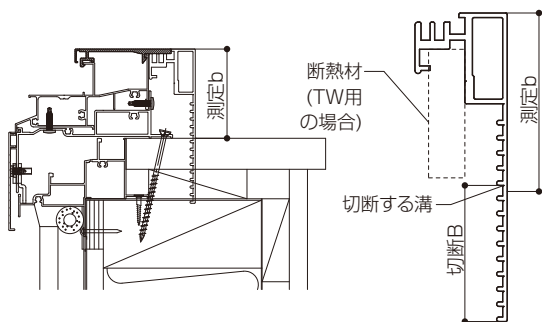
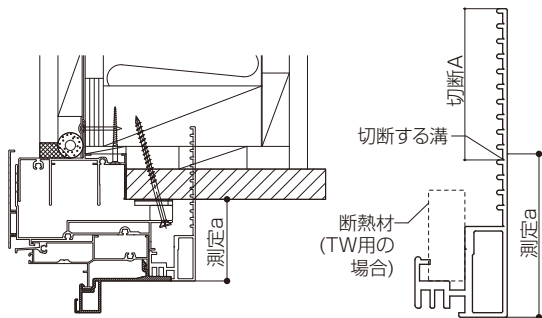
電動ドライバー	ドライバー(手回し)
※1 トルク調整付	※1
ドリル刃	直尺
※1 $\phi 2.0 \cdot 3.4$	
ペンチ	Pカッター
切断機	シーリング材
	 変成シリコーンをご使用ください

※1：アングルカバーの見付けが大きい納まりで見切材コーナーピースをねじ止めする場合は、ドリル、ビットのLは100mm以上をご用意ください。

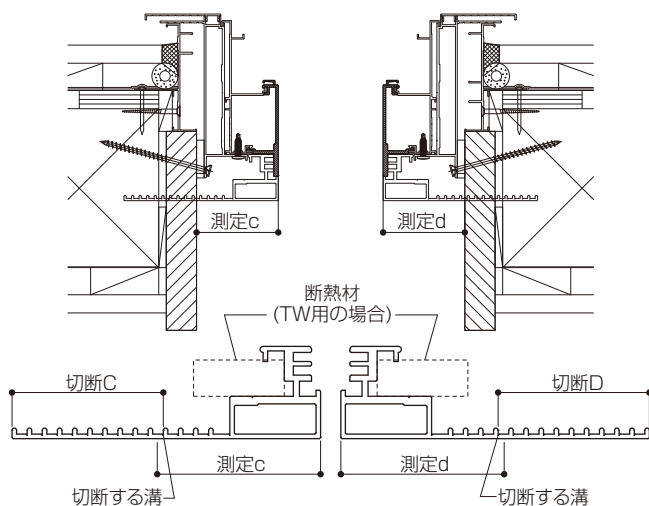
1 アングルカバーの切断寸法の確認

新設枠アングルから既設窓枠までのa～dを測定し、切断する溝を決めてください。

上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
a	b	c	d



※TW用の場合、断熱材の寸法違いで上・下があります。上には「上」シールが張られています。



2 アングルカバーの加工

お願い

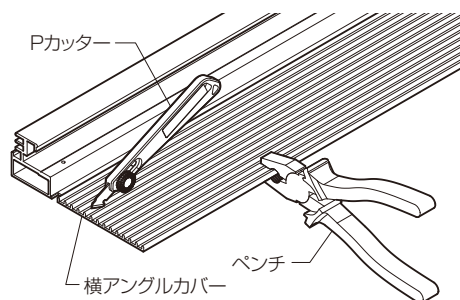
- 切断面は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- アングルカバー表面が白化する可能性がありますので、十分に切目を入れ、切断する溝付近を持って、丁寧に折取ってください。

アングルカバーを決定した溝で切断してください。

※上下アングルカバーには組立用の部品が付いています。

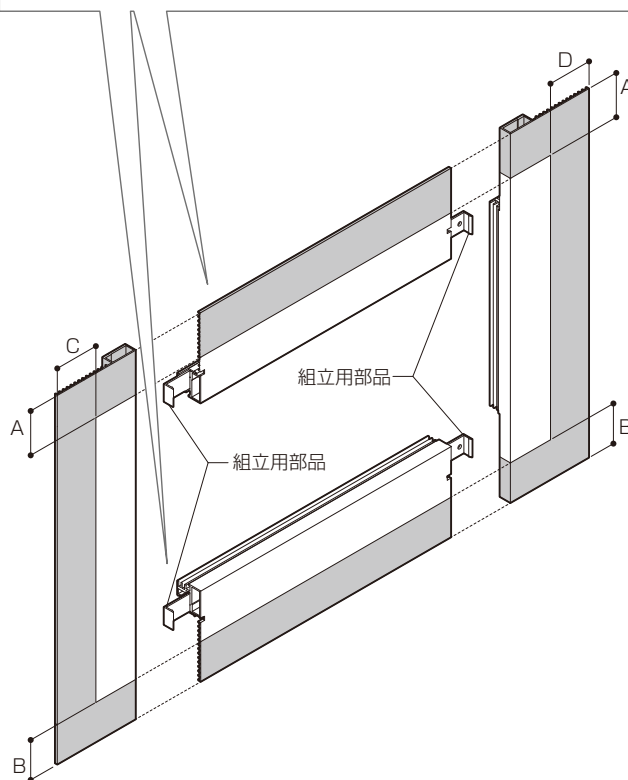
ポイント

納まりにあう溝にPカッターで切目を入れ、ペンチなどで折取ってください。



お願い

- 縦アングルカバーのL寸切詰めは、上下アングルカバーの切断に合わせて切断してください。切断した部材を当ててケガくと早く出来ます。

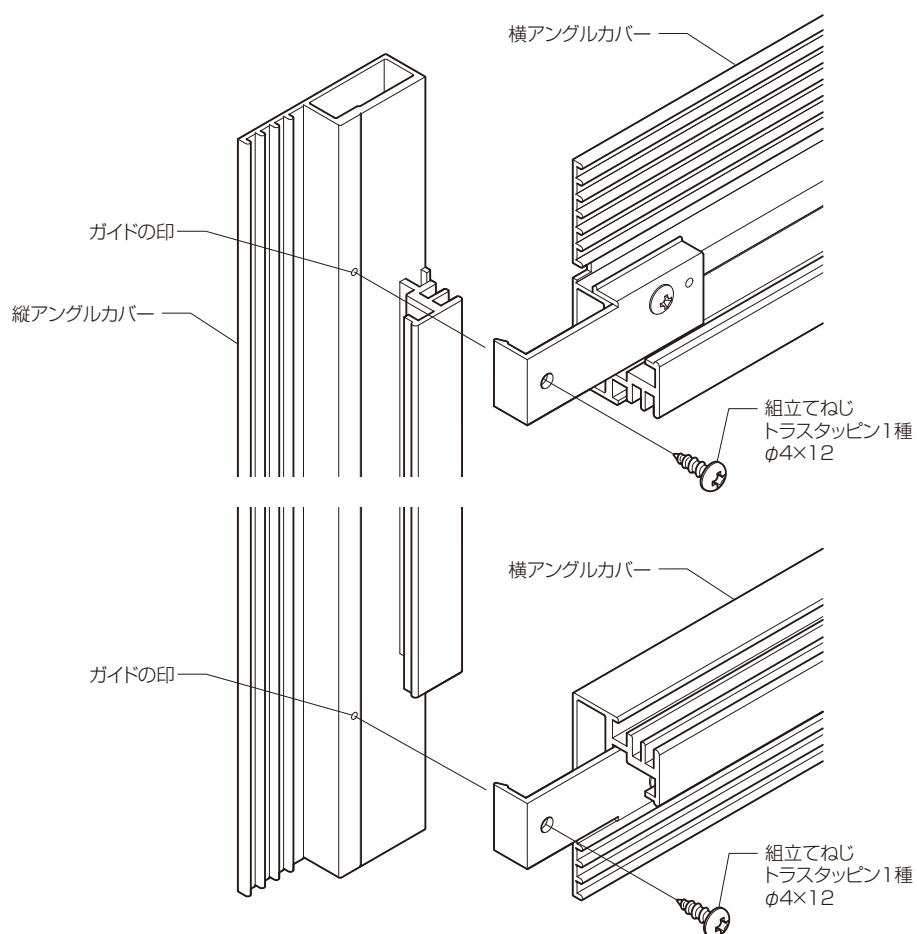


3 アングルカバーの組立て

アングルカバーは、分割での取付けでも組立ててからの取付けでも、どちらでも出来ます。

現場の状況にあわせて選択してください。

※組立てる場合には、ガイドの印がされているので同梱のアングルカバー組立てねじを使用して組立ててください。



4 アングルカバーの取付け

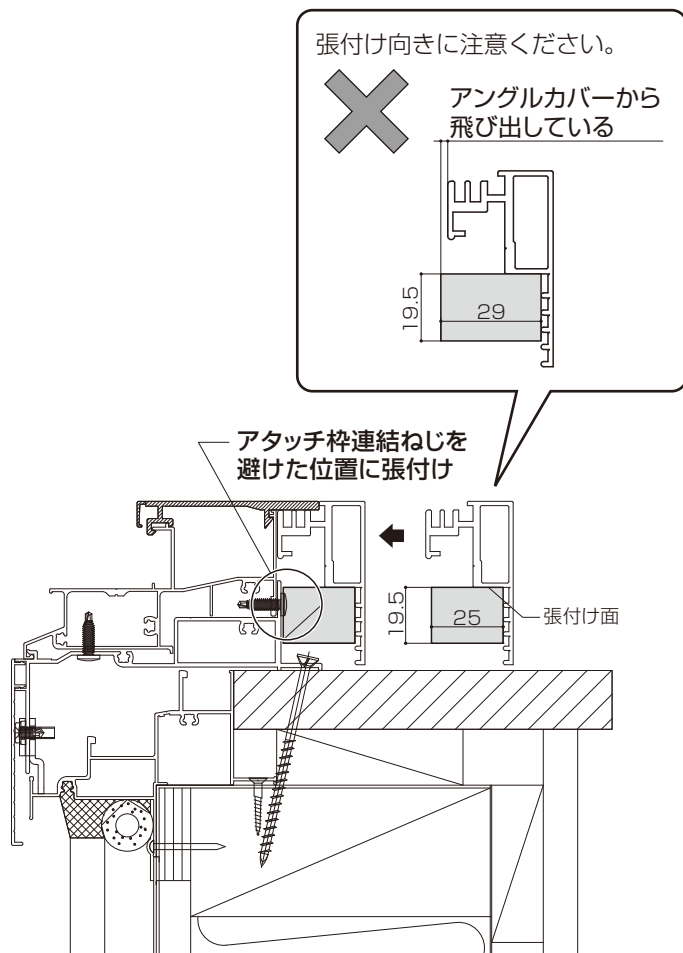
※TW用の場合は、張付け不要ですので、4-③へ進んでください。

①下のアングルカバーに取付補助ブロックを張付けてください。

取付補助ブロックは5ヶ入っています。張付け個数は下図を参照してください。

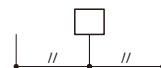
中間はアタッチ下枠の連結ねじを避けた位置におおよそ均等になるように張付けてください。

※取付補助ブロックの張付け向きに注意してください。

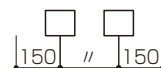


●張付け個数目安

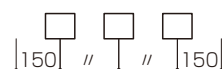
$W \leq 400$



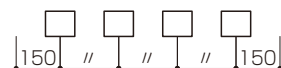
$W 351 \sim 500$



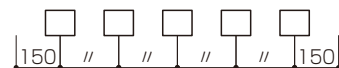
$W 501 \sim 1000$



$W 1001 \sim 1500$



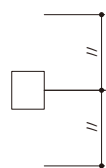
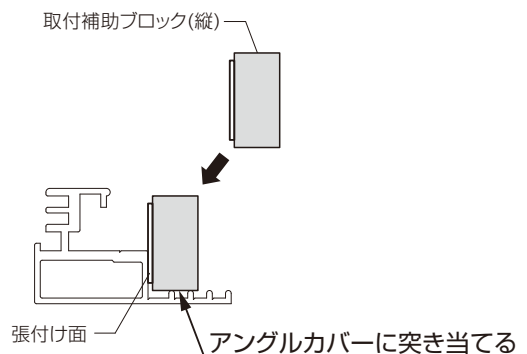
$W 1501 \sim$



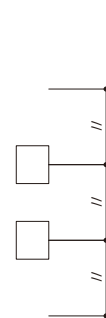
②縦のアングルカバーに取付補助ブロックをおおよそ均等になるように張付けてください。

取付補助ブロックは左右各3ヶ入っています。

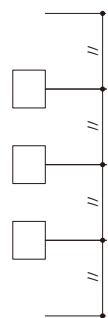
●張付け個数目安



$H \leq 300$



$H 301 \sim 500$

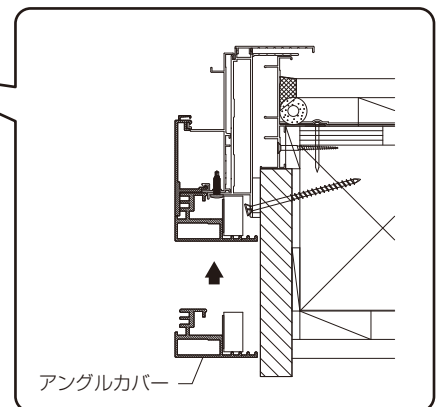
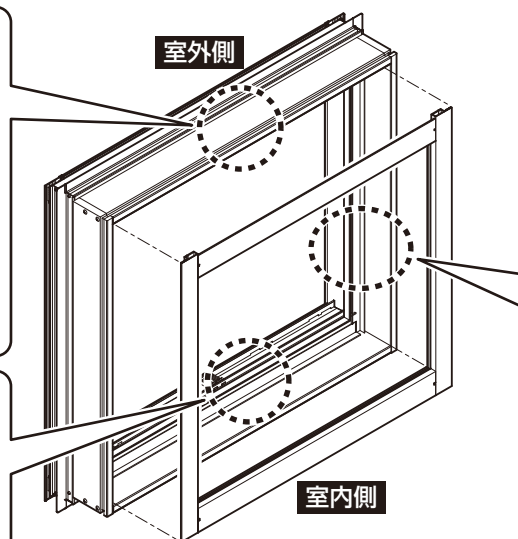
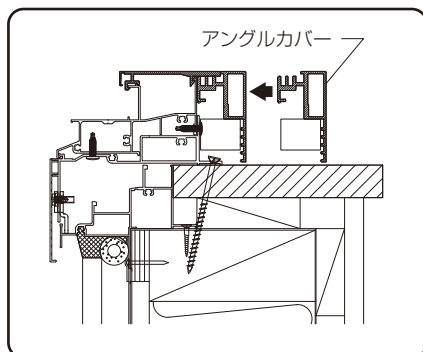
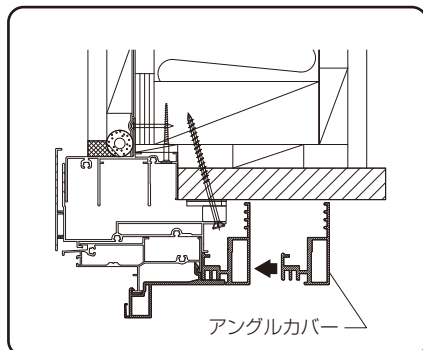
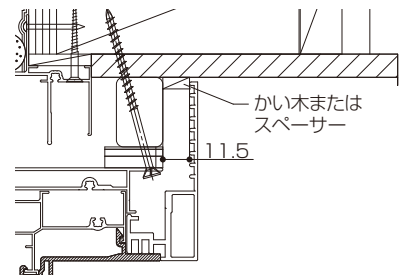


$H 501 \sim$

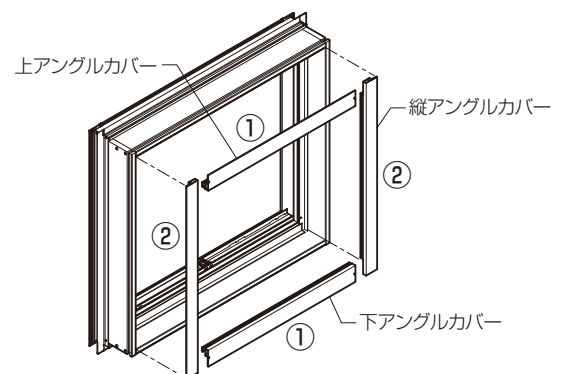
4 アングルカバーの取付け(つづき)

③ アングルカバーを新設サッシ枠に取付けます。

※上・縦のアングルカバーの足が長く、ガタつく場合は、かい木またはスペーサーを入れてください。



分割して取付ける場合は、上下アングルカバー→縦アングルカバーの順に取付けます。上下のアングルカバーは、新設サッシ縦枠アングル内々に左右均等になるように取付けます。



④ 新設サッシ枠の取付け穴に合わせてアングルカバーに下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじで固定してください。

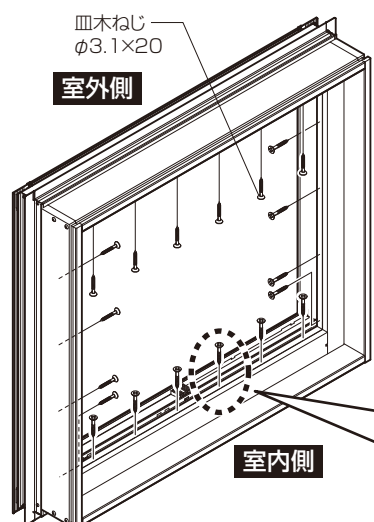
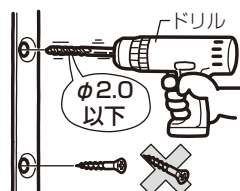
▲ 注意



●ねじの締めすぎに注意してください。
電動ドライバー使用時は、 $0.5\text{N} \cdot \text{m}$ {5kgf · cm}程度とし、最後は必ず手で絞めてください。締めつけ過ぎるとねじが効かなくなり脱落するおそれがあります。

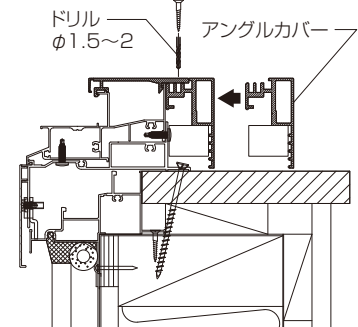
お願い

●ねじはまっすぐにねじ込んでください。



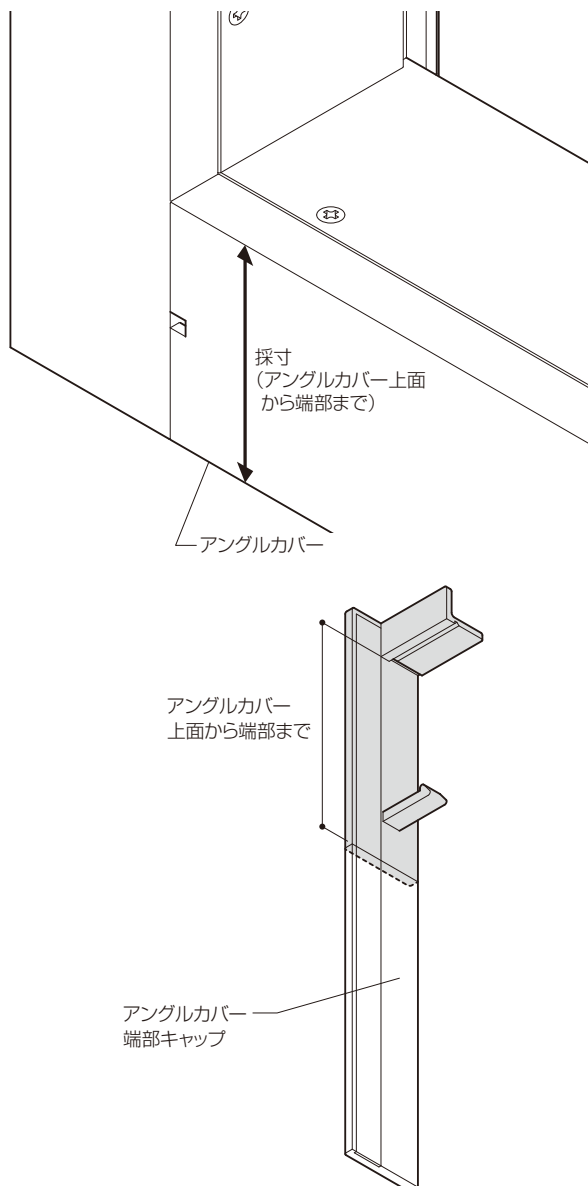
●詳細図

皿木ねじ
φ3.1×20
ドリル
φ1.5~2



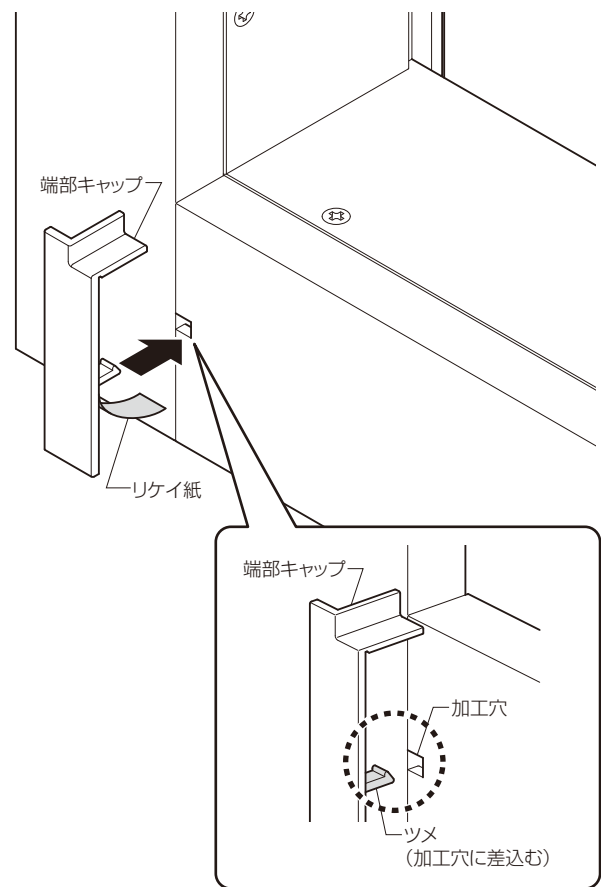
5 アングルカバー端部キャップの加工(見切材なしの場合)

端部キャップをアングルカバーに合せて切断してください。



6 アングルカバー端部キャップの取付け(見切材なしの場合)

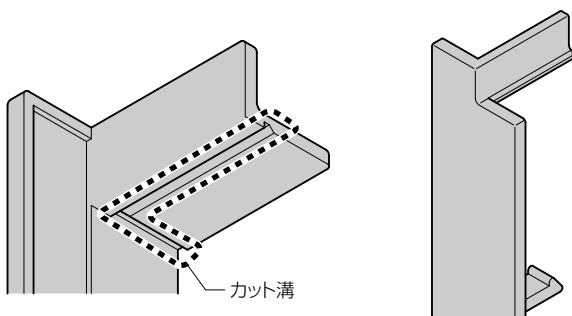
端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、張付けてください。



お願い

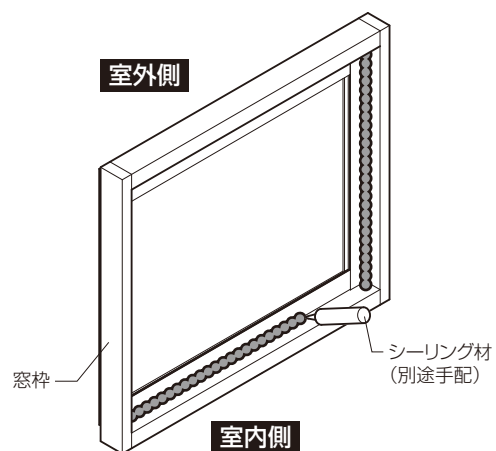
- 横引きロール網戸を使用する場合は、アングルカバー端部キャップ裏面にあるカット溝に沿ってカットしてください。カットせずにそのまま取付けると横引きロール網戸が端部キャップの上に乗る、アングルカバーとの間にすき間が発生します。

溝カット後

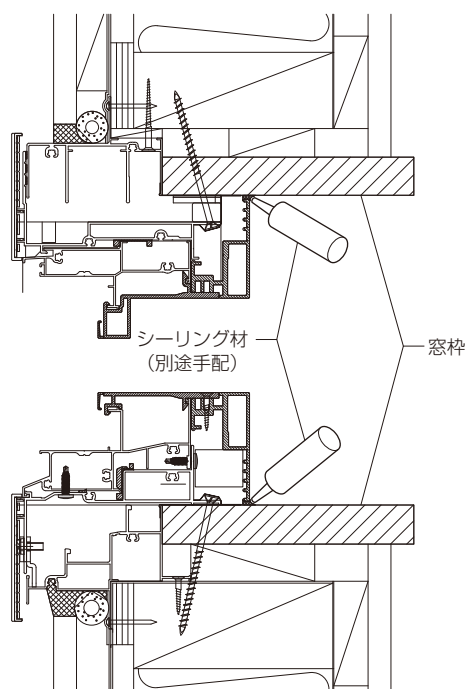


7 アングルカバーのシーリング処理(見切材なしの場合)

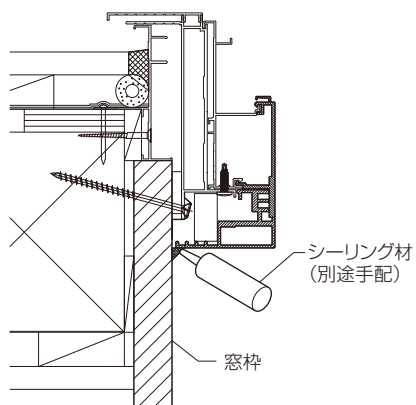
①窓枠とアングルカバーのすき間をシーリング処理してください。



●縦断面図



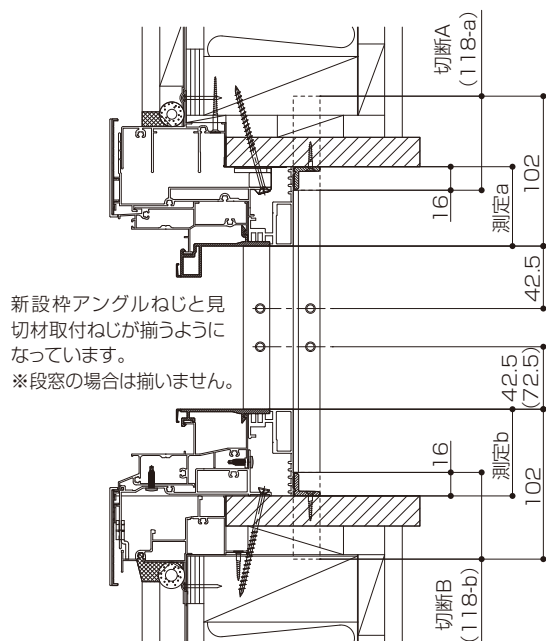
●横断面図



Ⅲ見切材の切断寸法の確認（見切材ありの場合）

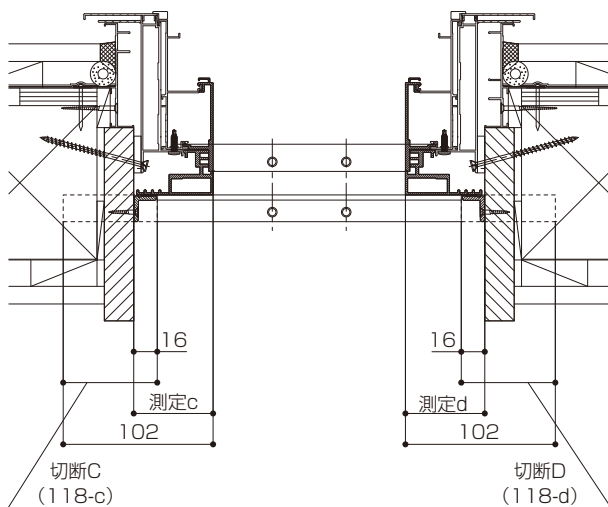
Ⅰで測定したa～dから、切断A～Dを決めてください。

	上枠	下枠	左縦枠	右縦枠
採寸	a	b	c	d
切断	A(118-a)	B(118-b)	C(118-c)	D(118-d)



※縦・横すべり出し窓オペレーター用、高所横すべり出し窓用の場合は、新設サッシに合わせて端部からの穴位置が異なります。(上記()寸法)、端部からの寸法が小さい方が上側になり、穴加工裏面に「上」シールが張付けてあります。

新設枠アングルねじと見切材取付ねじが揃うようになっています。
※連窓の場合は揃いません。
※窓種が違う連窓の場合は、端部も揃わない場合があります。

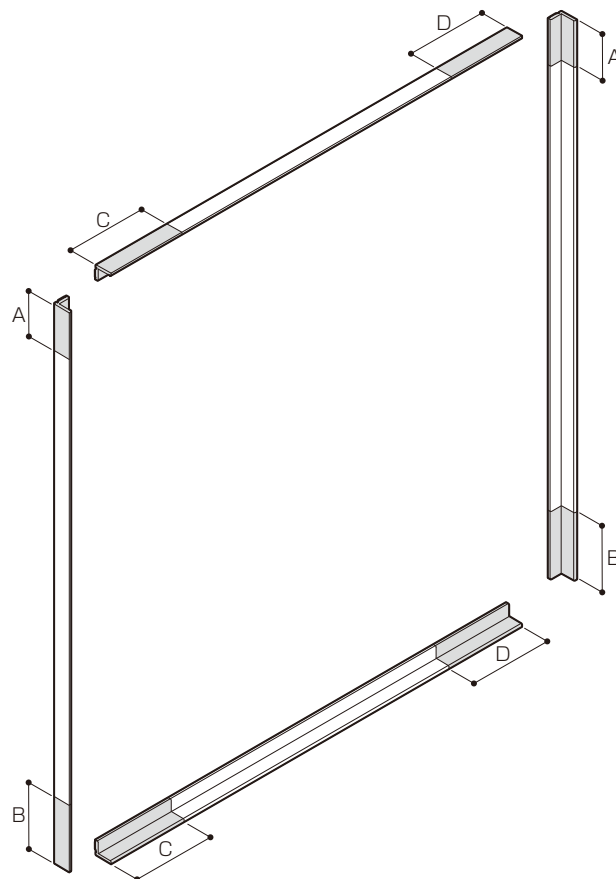


Ⅳ見切材の加工

見切材を決定したA～Dに合わせて切断してください。

お願い

- 切断小口は鋭利な部分が残らないようにヤスリなどで仕上げてください。
- 見切材は上下寸法、左右寸法をそれぞれ端部から切断機などで切断してください。合計の切断寸法で片側から切断すると、新設サッシ枠のアングルねじと見切材固定ねじの位置にズレが発生します。

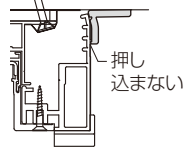
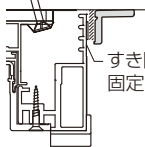
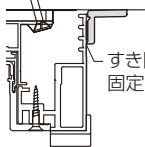


見切材の取付け

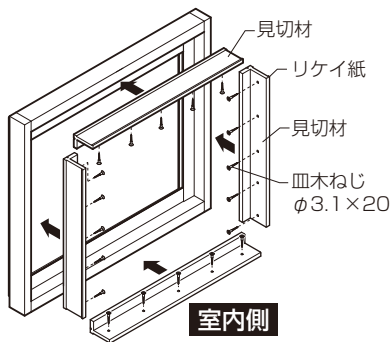
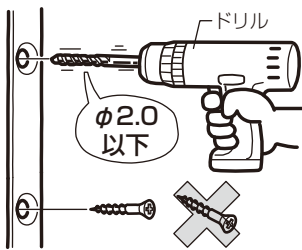
- ①見切材のリケイ紙をはがして、窓枠に当ててスライドさせながらアングルカバーとすき間が出ないようにアングルカバーに押し付けて圧着してください。
※サッシ本体のアングルねじ穴と見切材の取付け穴位置を合わせて固定します。
- ②圧着したら、取付け穴に合せて窓枠に下穴(φ1.5~2)をあけ、取付けねじでねじ止めます。

お願い

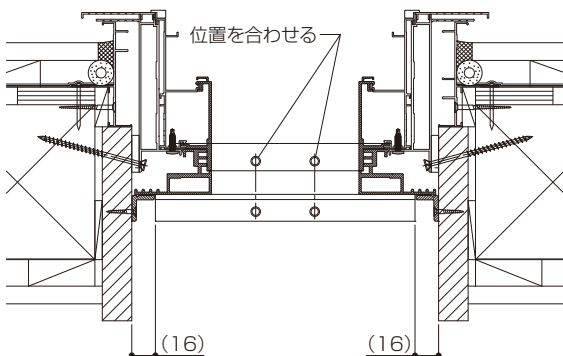
- 見切材はすき間なく取付けてください。
その際、見切材を押し込んで、アングルカバーが曲がらないようにしてください。



- ねじはまっすぐにねじ込んでください。
- ねじの締めすぎに注意してください。

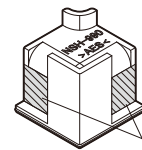


例：横断面

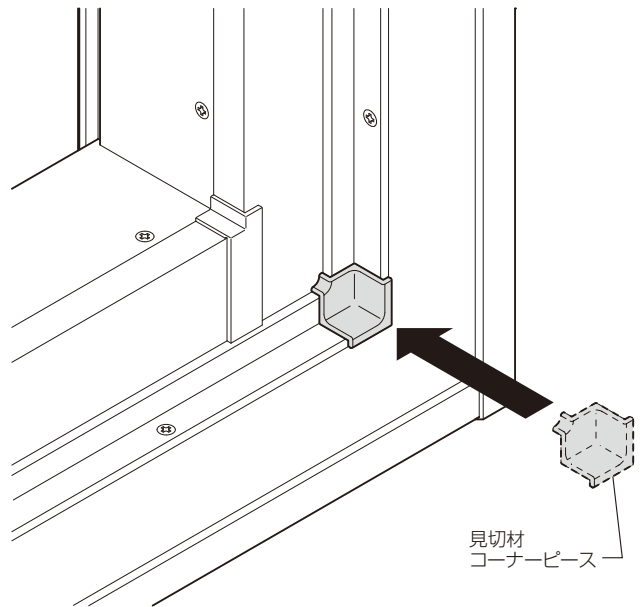


見切材コーナーピースの取付け(両面テープ仕様)

- ①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。
- ③窓枠に強く押付けて圧着します。
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。

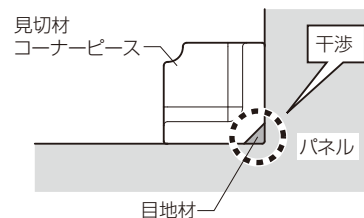


両面テープ(斜線部)



見切材
コーナーピース

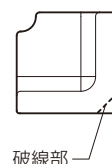
- ※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。



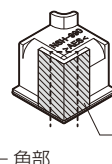
目地材

【見切材コーナーピースカット位置】

カット前

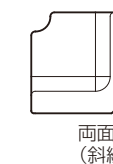


破線部

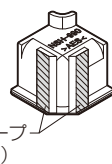


角部

カット後



両面テープ
(斜線部)



両面テープ
(斜線部)

- ※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

Ⅲ見切材コーナーピースの取付け(ねじ止め仕様)

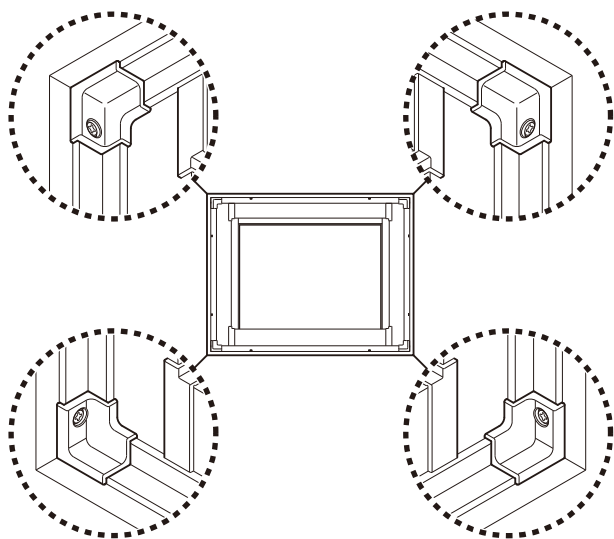
①見切材コーナーピース取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。

※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

②裏面のリケイ紙をはがし、見切材コーナー部に合わせます。
※張直しをしないでください。接着力が低下し、外れの原因になるおそれがあります。

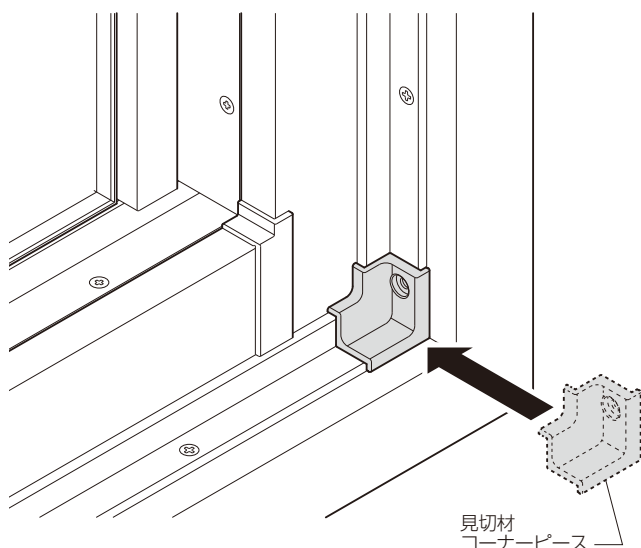
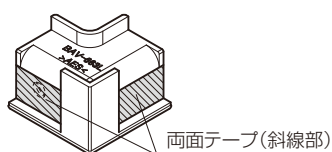
【推奨取付図】

※サイズが小さく、取付しづらい場合は取付向きを変更してください

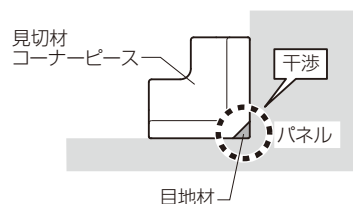


③窓枠に強く押付けて圧着します。

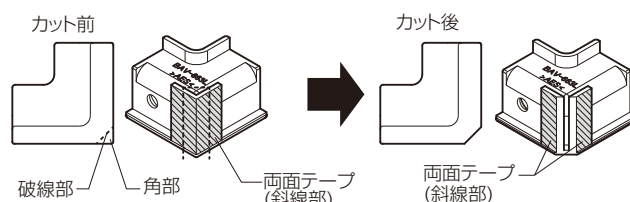
※両面テープが付きにくい場合は、見切材コーナーピースの下図斜線部に両面テープ(現場手配/厚さ0.3mm以下)を張付けて、見切材に圧着してください。



※キッチンなどでパネルのコーナー部に目地材などがある場合は、見切材コーナーピースの角部(下図破線部)をカットして干渉しないようにしてください。



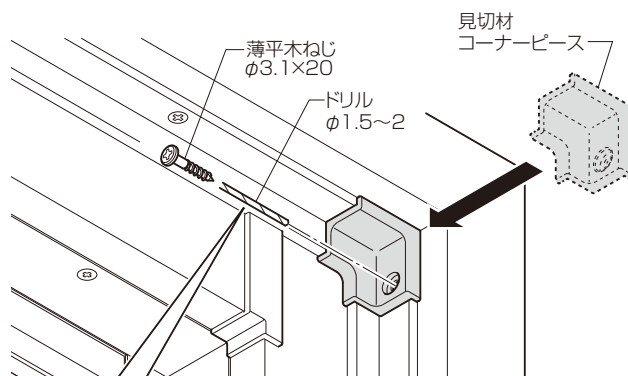
【見切材コーナーピースカット位置】



※カットする時に両面テープをはがさないように注意してください。

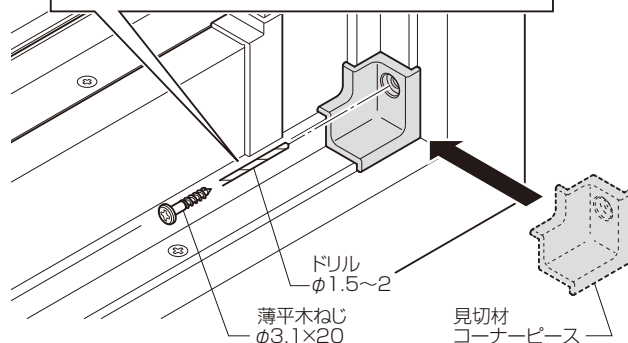
④取付け穴に合せて見切材と窓枠に下穴($\phi 1.5 \sim 2$)をあけ、取付けねじでねじ止めします。

※ねじ止め時に傷つけないためにアングルカバー・見切材を養生等で保護してください。



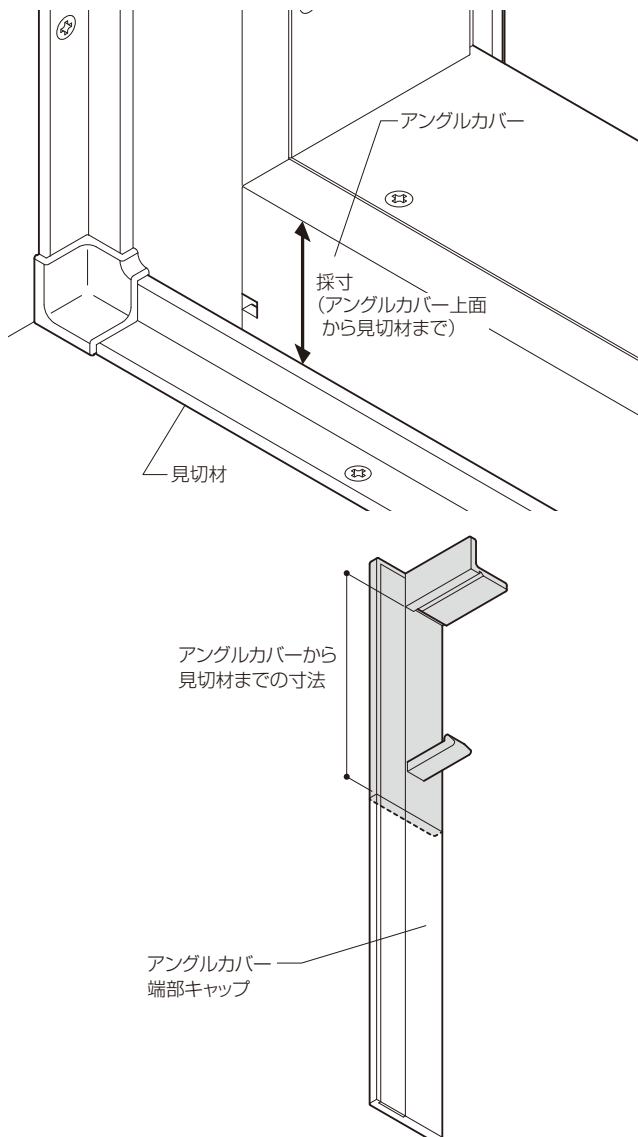
※アングルカバーの見付けが大きい場合には、傷つき防止のためにドリルやビットは100mm以上を使用してください。

※アングルカバーの見付けが大きい場合には、傷つき防止のためにドリルやビットは100mm以上を使用してください。



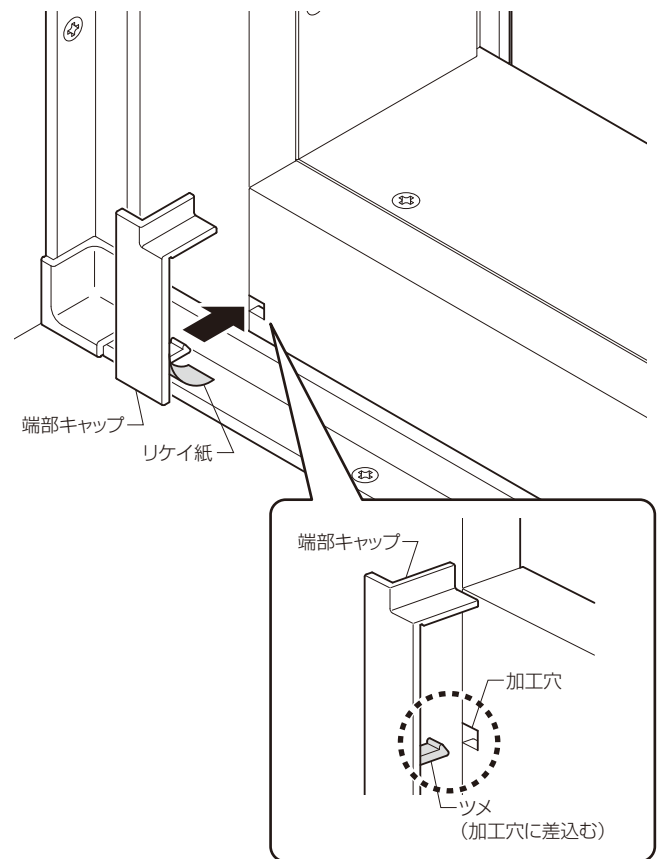
⑫アングルカバー端部キャップの加工(見切材ありの場合)

端部キャップをアングルカバー・見切材に合せて切断してください。



⑬アングルカバー端部キャップの取付け(見切材ありの場合)

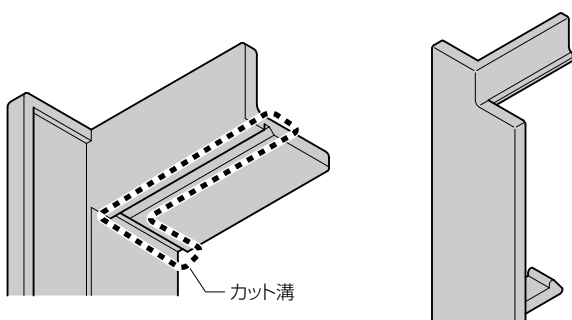
端部キャップのリケイ紙をはがして、端部加工穴に差込み、張付けてください。



お願い

- 横引きロール網戸を使用する場合は、アングルカバー端部キャップ裏面にあるカット溝に沿ってカットしてください。カットせずにそのまま取付けると横引きロール網戸が端部キャップの上に乗る、アングルカバーとの間にすき間が発生します。

溝カット後



MEMO
